

宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和6年 2月 2日 (金)
文責 校長 村田 浩彦

☆☆☆令和6年度能登半島地震発災から1か月☆☆☆

令和6年能登半島地震発災から1か月が経ちました。9日から始まった3学期もあっという間にその3分の1が終わったこととなります。幸い本校の教職員や児童には大きなけがなどはありませんでしたので、今日まで元気に過ごすことができたように思います。

残り2か月(実質1か月半)を大切に過ごすことで、令和6年度の4月を順調にスタートすることができます。それぞれの学年の力をしっかりと付けるよう教職員一丸となって取り組みますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

昨日の全校集会では、「GRIT(グリット、やり抜く力)」「Resilience(レジリエンス、回復する力・立ち直る力)」についてお話ししました。私たちは、明るい未来に向けて前進し続けなければなりません。そのために、必要な力「グリット」と「レジリエンス」を身に付けようと子どもたちに呼びかけました。トレーニングによって身に付けることが可能ということですので、方法をお子様に聞いてみてください。



☆☆☆「いつも」と「もしも」の境目をなくす☆☆☆

今般の能登半島地震発災にあたり、私たちの日頃の生活について見つめ直すことが重要だと思われます。昨年度の学級だよりで「フェーズフリー(Phase Free)」について紹介しました。群発地震はまだまだ続くと思われるので、再度お知らせしたいと思います。

身の周りにある「モノ」や「サービス」を日常時だけでなく非常時にも役立てることができることを考えること、その考え方を「フェーズフリー」といいます。

防災用品はその多くが、普段(日常時)は保管されていて、非常時に取り出して使うものです。それに対して「フェーズフリー」に考え方は異なります。「フェーズフリー」商品は、普段の生活において活用できるだけではなく、非常時の「もしも」の事態でも役立つ商品(サービス)になります。

(例) フェーズフリー協会のホームページから紹介します。

①PHV車(モーターがメインのハイブリッド車)

(日常時) 燃費が良く家計に優しい。平日は、通勤に休日は家族ドライブに使える。

(非常時) 停電時に家庭電源として使用できる。残り分である程度の距離を走行できる。

②ふろしき

(日常時) 運ぶ際に雨や汚れから守ってくれる、大切なものを包むふろしき

(非常時) 超撥水のふろしきで水が運べる! 非常時には飲料水になる。

など。このほかにもたくさんあります。

大人だけでなく子どもの生活の中にも「フェーズフリー」を見つけることができます。各家庭でもお子様と話し合ってみてください。

※フェーズフリー協会のホームページで詳しく知ることができます。次のサイトから。

<https://phasefree.org/>

